

書道パフォーマンスで特殊詐欺被害を防止 広尾高校書道部

2024/06/19 20:15



広尾高校の生徒が書き上げた特殊詐欺啓発用の書道作品

【広尾】広尾高校書道部の荒木理乃部長（２年）、小堀みなみ副部長（同）、顧問の青木杏佳教諭の３人は１８日、広尾警察署で、特殊詐欺への注意を呼び掛ける書道パフォーマンスを行った。大筆を使い、力強く「撃退」の２文字を書き上げた。作品は同署ロビーに２６日まで展示される。

従来型の還付金詐欺のほか、最近はＳＮＳを使った投資詐欺やロマンス詐欺が管内で頻発しており、幅広い層に注意を促そうと広尾署が企画。広尾高校の書道部に協力を依頼した。

この日は広尾署の会議室に、縦１・５メートル横２・８メートルの模造紙を用意。兼平直行署長、道警マスコット「ほくとくん」、広尾町のマスコット「さーたちゃん」が見守る中、３人は音楽に合わせて筆を走らせた。

最後に「還付金、料金未納、ＳＮＳ型投資－特殊詐欺、撃退」「甘い誘惑、信じちゃダメ！」と書いた作品を掲げて終了。荒木さんは「力強く書き上げることができた。この書を見た住民には、人の話をしっかり聞き、自分を信じて、だまされないよう気を付けてほしい」と述べた。

兼平署長は「とても素晴らしい作品。被害防止につながることを期待」とし、荒木さん、小堀さんに感謝状を贈呈した。（能勢雄太郎）